平成29年12月13日(水)高松開催

事例発表①

医療勤務環境改善の取り組み

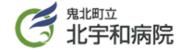
鬼北町立 北宇和病院

愛媛県医療勤務環境改善支援センター 医業経営アドバイザー 吉良 明宏

病院の紹介



基本理念:誠意、努力、信頼





病院概要

開設者	鬼北町
指定管理者	社会福祉法人旭川荘(岡山市)
開院	平成18年4月1日
診療科	内科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、ハ児科(休診中)、皮膚科(休診中)
病床数	一般病棟(55床) 療養病棟(45床)
附帯事業	訪問看護事業(北宇和訪問看護ステーション)

医師	6. 4人	PT	4. 0人
看護職員	61. 3人	ОТ	1. 0人
薬剤師	1. 0人	管理栄養士	2. 0人
検査技師	2. 0人	MSW	1. 0人
放射線技師	2. 0人	事務ほか	22. 1人

3

医療勤務環境改善の取組みの背景

- 経営面では人件費率が高く、赤字
- 労務面では応募が少なく人手不足

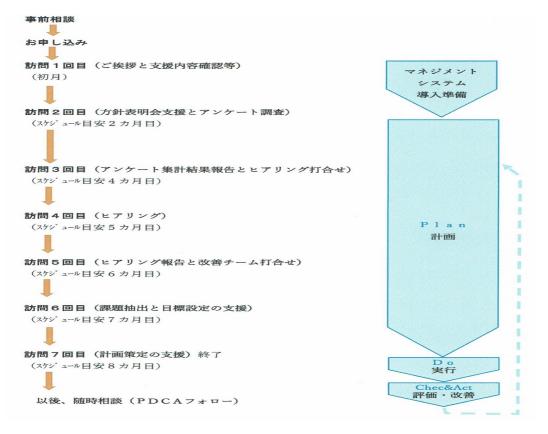


まずは勤務環境を改善し、経営改善にも繋げていきたい ——

H29. 2 愛媛県医療勤務環境改善支援センターの個別相談会に参加

4

医療勤務環境改善支援センターの支援の流れ



H29. 4 支援センターの訪問(第1回目)

- ■医療勤務環境改善における支援センターの支援 の流れの確認
- 院長のキックオフ宣言会の打合せ

医療機関:院長、副院長、事務長、事務担当者

センター:医業経営アドバイザー、医療労務管 理アドバイザー、県事務局

6

医療勤務環境改善の取組み

H29. 5 支援センターの訪問(第2回目)

- 院長からのキックオフ宣言
- センターからの医療勤務環境改善マネジメントシステム導入の説明
- ・勤務環境チェックリスト(全職員対象)の配布

医療機関:院長、副院長、事務長ほか主席可能な職員(欠席者はビデオ閲覧)

センター: 医業経営アドバイザー、医療労務管理アドバイザー、県事務局

H29.6 勤務環境チェックリストの実施

- ・チェックリスト配布から10日程度で回収
- ・各自個別の封筒に入れ封をした状態で回収 (回収率100%)
- ・回収した封筒を開封せずにセンターへ提出
- ・センターで開封、集計

勤務環境チェックリスト(簡易版チェックリスト) 職種 1年未満、10年未満、20年未満、30年以上 年齢 歳代

この勤務環境チェックリストは、全国の医療機関で既に行われている最好事例に基づいて作成しています。それぞれのチェック項目に対して、現在の階場におけるあなたの実施として、「そう思うは、以ばてそう思わない」を判断し、数では、 なたの実施として、「そう思う」なばてそう思わない」を判断し、数では長春曜年の「った記入してください、また。「そう思わない」のうち、「相談として特にない 目」に「②」を記入してください(3つまで)。回答にご協力頂いた皆様のよってアリストは組織の勤務環境を改善するために、大切に活用させて頂きます。チェックリストへ の回答は皆様の自由意志によります。回答しない場合や、回答内容によって不動誌が生じることは一切ありませせん。

対策 項目		チェック項目 現在の職場における <u>あなたの実感</u> を回答してください。	そう思う	そう思わない 〈特に取り組んでほしい事 項に「②」(3つまで)〉
A.勤務時間と 休憩、休日・ 休暇	1	休日、年次有給休暇が取れる		
	2	勤務時間内で、決められている休憩時間・仮眠時間が取れている。		
	3	職員に著しく時間外労働の多い人はいない		
	4	職員の仕事量は適切だと思う		
	5	職員確保に経営側は努力している		
	6	職員の業務の内容を管理職が理解している		
	7	管理職が職員の健康について気を使っている		
	8	職場で適切な情報提供がある		
	9	産業医への相談方法・手順が確立されている		
B.職員の健	10	職員本人の守秘義務が守られている		
康支援	11	定期的な健康診断が行われている		
	12	特殊な勤務部署の職員は通常の健康診断以外にも健康診断を受診している		
	13	職員に対して感染症等特殊な症例について教育を実施している		
	14	職員およびその家族に対して、職員の健康状態について正しい情報提供がなされている		
	15	休憩室や当直室は清潔である		
C.勤務環境 の改善	16	院内で提供される食事については不満はない		
	17	休憩室では十分な休憩が取れる		
	18	院内での暴力行為に対して、対処方法が決まっている		
	19	パワーハラスメント、セクシャルハラスメントに対して独立した窓口が設置されている		
D.業務手順・ ストレス軽減	20	職員の業務量を軽減することが、経営者側によって検討されている		
	21	業務改善を行い、本来の業務に専念できるように各自が努力している		
	22	業務改善を徹底するために委員会等が設置されている		
	23	同僚間で何事も話し合える雰囲気がある		
	24	職員同士互いに挨拶をしている		
E.気持ちのよ い仕事の進	25	職員間の意思疎通を図るために連絡会、ミーティングを頻繁に行っている		
め方	26	掲示板等でいつでも情報が職員に正確に伝わっている		
	27	病院(診療所)の運営に関して、職員の意見も傾聴している		
	28	医療事故等に対して、組織的に対応している		
F.活躍できる 職場の仕組	29	給与制度については、ルール化されている		
	30	職員に対し平等に研究会等に参加させ、キャリアアップを図っている		
	31	病院(診療所)に出入りするスタッフ全員に対して健康についての教育を行っている		

何かご意見がございましたら記載してください。

所属部署勤続

8

H29. 7 支援センターの訪問(第3回目)

- センターから勤務環境チェックリストの集計結果の報告
- •ヒアリング調査の打合せ

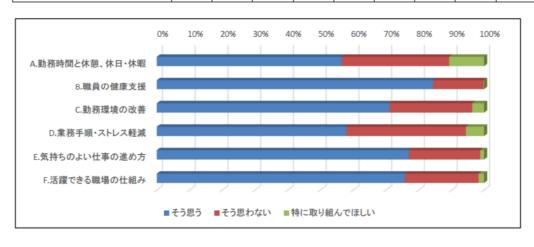
医療機関:院長、副院長、事務長、事務担当者

センター:医業経営アドバイザー、医療労務管 理アドバイザー、県事務局

10

勤務環境チェックリスト(簡易版チェックリスト) 集計1

	回答件数			回答割合				DI	
対策項目	そう思う	そう思わ ない	特に取り 組んで ほしい	合計	そう思う	そう思わ ない	特に取り 組んで ほしい	回答なし	DI.
A.勤務時間と休憩、休日・休暇	284	165	54	503	56.5%	32.8%	10.7%	100.0%	12.9
B.職員の健康支援	544	100	1	645	84.3%	15.5%	0.2%	100.0%	68.7
C.勤務環境の改善	157	56	8	221	71.0%	25.3%	3.6%	100.0%	42.1
D.業務手順・ストレス軽減	228	144	22	394	57.9%	36.5%	5.6%	100.0%	15.7
E.気持ちのよい仕事の進め方	384	109	6	499	77.0%	21.8%	1.2%	100.0%	53.9
F.活躍できる職場の仕組み	181	54	4	239	75.7%	22.6%	1.7%	100.0%	51.5



勤務環境チェックリスト集計結果の概要

基本的には全ての基本項目で半数以上は満足しているという結果であったが、個別の項目では以下のような傾向があった。

・満足度が低かった項目

「職員の業務量を軽減することが経営者側によって検討されている」

「病院の運営に関して職員の意見も傾聴している」

特に取り組んでほしい項目

「休日、年次有給休暇が取れる」

「職員の業務量を軽減することが経営者側によって検討されている」

12

医療勤務環境改善の取組み

H29.8 支援センターの訪問(第4回目)

•ヒアリング

医療機関:各部門から代表者(計13名)

センター: 医業経営アドバイザー、医療労務管

理アドバイザー

H29. 10 支援センターの訪問(第5回目)

•ヒアリング結果の報告

医療機関:院長、副院長、事務長、事務担当者

センター : 医業経営アドバイザー、医療労務管

理アドバイザー、県事務局

14

ヒアリング結果の概要

ヒアリングした内容を勤務環境チェックリスト の項目に沿って分類

ヒアリングで得られた情報

- ・部門間での差が大きい(人員不足、残業、休暇、コミュニケーション)
- ・部門によっては上司と部下の認識の差が大きい(残業、コミュニケーション)
- 経営者側の努力が職員に伝わっていない

医療勤務環境改善の今後の取組み予定

H29. 12~

・課題抽出と目標設定

- 計画の策定

- •計画実施
- •評価
- •改善



16

これまでの医療勤務環境改善の 取組みに対する感想

- ・これまで看護部門のみで改善活動を行っていたものが、支援センターの支援によって病院全体の取組みとしてできるようになった。
- 今回の取組みで職員の本音を聞くことができた。
- ・経営者側と職員側の認識の違いを再確認できたと同時に支援センターが調整役(潤滑油)的な存在となっている。
- 今後は支援センターの支援も受けながら病院自身でマネジメントシステムを回していけるかがポイント。

ご清聴ありがとうございました

